

# 東京形成歯科研究会 &インプラント国際情報

H. 20. 12. 12 (FRI)  
No.5

原稿募集中

発行

編集 東京形成歯科研究会  
企画 オクデラメディカル  
発行者 奥寺 元

東京都北区王子 2-26-2-3F  
TEL 03 (3919) 5111  
FAX 03 (3919) 5114  
E-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp  
http://www.tpdimplnt.com/

## 意義ある学会活動

東京形成歯科研究会 副会長 古谷田 泰夫



支部主催による最後の(社)日本口腔インプラント学会総会が有楽町国際フォーラムにて盛大に開催された。学会で発表すること、すなわち観衆の前で喋る行為は緊張を伴う。またその人物の性格にもよるが、揚がり症の性格はさらに追い討ちをかける。小心者の私にとって観衆を前にしての発表や講演は一大事業であつたが、年に4〜5回の講演を頼まれ医師・看護師などの他業種や市民対象のセミナーなど人前に立つことが増え、少しずつ緩和されてきた。話

表される先生方も緊張することは仕方が無いが自分らしい発表をされれば良いと思う。また「ことば」は重要である。長々と話されるより、たった一言がその後の考え方や流れを決めてしまうことがある。今回の発表では奥寺 元先生の追加の一言が会場の雰囲気とその後の流れを決めた。「この剖検は私の父です」このことばには凄じ重みと歯科医学に対する先生の信念がこもっていた。「質問ではありませんが」と先生の歯科医学に対する評価の発言があり、静かな中に発表は終了した。学会で発表することは、自身のレベルアップと研鑽の証であり、学会が求めるところではないかと思う。インプラントは開業医の稼ぎどころということですぐ飛びつく先生もいる。東京形成歯科研究会の先生方はエビデンスに基づいたインプラントを展開するという意味からも学会での発表を行って、自身のレベルアップと研鑽の証として頂きたい。

## 厳しくも楽しい 学会発表

東京形成歯科研究会会員  
富士市開業 鈴木 一成



平成20年9月13日に行われた、第38回(社)日本口腔インプラント学会学術大会にて、私は「下顔面形態をチタンフレーム型インプラントにより改善した1症例(歯科美容外科 その8)」という演題で、一般口演をさせていただきました。

発表にいたるまでは、認定講習会終了後の予演会、毎年恒例の横浜ベイサイドマリナーにおける予演会など、奥寺先生より様々なアドバイスをいただき感謝しております。また、横浜ベイサイドマリナーでは、奥寺先生のクルーザーでの生活ぶりや世間話、トロリーリグなど、いろいろな体験ができました。これにより、発表当日に、緊張がほぐれていたのかもしれない。

奥寺先生がいつもおっしゃっている、「インプラントにより顔面形態修正」を考えたとき、チタンフレーム型インプラントは非吸収性であり、自由に形態付与ができ、安定した顎堤の形態を維持できることから、美容形成外科分野におきましても応用可能であり、インプラントにおける領域拡大の可能性があると思えました。

## コラム

きく浮き彫りにされている気がするのは、私だけでしょうか？

ある首相がボロツと口にだした言葉に医療人は社会性がない方もおられるという言葉は意味深々である。しかし、文部科学省・厚生労働省の諸問題解決の取組みの遅れが一層問題がある。それを指導する医師会、歯科医師会も機能を果たしていないのが現状ではないでしょうか。文部科学省・厚生労働省のお役人は医師会・歯科医師会の使徒として働かなければならないのに多少双方はき違いをしておるのではないのでしょうか。また、各庁経済的理由により産学一体を進めているが、やはり企業誘導型研究になりえる。

現在歯科が生き残りの糧として、歯科インプラント臨床が全盛時代であるが、諸問題から鑑みると極めてインプラントバブル崩壊後の歯科診療が恐ろしくなる。現実には昔、某会社が出したセラミック系のインプラントの問題点から社会的なインプラント不安が起こり、その影響は現実計り知れないものであった。未だに業者誘導のインプラント臨床が主流で、その商業ベースに翻弄されている。頼みの学術商業誌が学術誌とは縁遠く、コミーシャルDのオンパレードで、作られたカリスマは彼等自身のオリジナルの研究がなく、エビデンスに乏しくそれに惑わされている若き医学徒はマインドコントロールされている現状を見る事はあまりにも忍び難いことである。

そういう意味での学会のあり方を真剣に考えなければならぬ。的確なエビデンスを求めている広範囲に渡る社会性の高い研究を。けて規制の抑止力を持った、権限を強く主張することはなく、会員の使徒として使命感を持って学会役員は働いて頂きたいものです。 奥寺 元 記

## 第38回(社)日本口腔インプラント 学会総会・学術大会 終了する

- HA コーティングフィクスチャーへのフッ化物処理に関する研究  
- 走査電子顕微鏡観察と剥離試験について -
- 上下顎過歯槽骨増殖症いわゆるガミースマイル症例の美容整形的改善  
- 歯科美容外科 その7 -
- フッ化物応用後のHAに関する研究 (I)  
- 吸収性HA 顆粒のX線回折ならびに走査電子顕微鏡観察とEDX 分析について -
- 亜塩素酸ナトリウム洗口液応用後における  
インプラント体表面性状に関する研究
- 下顔面形態をチタンフレーム型インプラントにより改善した症例  
- 歯科美容外科 その8 -
- HA 応用の Custom Endosteal Implant に対して PRP を併用した  
吸収性合成アパタイト顆粒の効果について
- 要介護老人のインプラント動向について
- ケースプレゼンテーション4題
- ランチョンセミナー

# 動物実験の研究成果を発表

東京形成歯科研究会会員 市川市開業 田 昌守



9月に東京フォーラムで開催された第38回(社)日本口腔インプラント学会学術大会の一般口演で「HAコーティング応用の Custom Endosteal Implant に対し PRP を応用した吸収性アバタイト顆粒の効果について」と言う題名で発表しました。

発表の内容は Custom Endosteal Implants のインプラント周囲に行った GBR の部位に新生された骨についての組織学的考察についてです。

3年前に奥寺先生、北村先生方と米国 San Diego の Dr.Nordquist のオフィスで Custom Endosteal Implants のライブオペを見学し、Dr.Nordquist のオペ技術の素晴らしさ、CEI の臨床所見の素晴らしさそして患者さんの満足した姿を見て感謝と感動をして以来ずっと CEI

に興味を持っておりました。奥寺先生からこのインプラントについての研究発表を行うと伺ってからは是非発表をさせて頂けないかとお願ひし、残念ながら研究実験には立ち会えませんでした。が、学会発表の機会をいただきました。

学会発表など全く経験が無く、何も分からない私にまず奥寺先生から発表の抄録を頂き、その後高橋常男教授、北村先生方から直接アドバイスを頂きながら、少しずつ原稿の修正を重ねました。そして何回も繰り返し予演会を行っていくうちに原稿は完成し、発表のスピーチも少しずつ上達していきました。本番が近づくと奥寺先生、高橋教授、北村先生から直接メールを頂き、発表の緊張を和らげていただきました。また、発表の数日前には Dr. Nordquist 先生も来日され、発表内容についてディスカッションをさせて頂き、より深く発表内容を理解するこ

とができました。

発表当日も Dr.Nordquist 夫妻はお帰りの飛行機の時間が迫っていると言うのに会場にお見えになり、またたくさんのお客様に会えましたが、学会発表後の質疑応答には奥寺先生に助け舟を出していただき、無事に終えることができました。

実際、発表までは緊張の連続でしたが、いざ終わってみるとその充実感に頑張つてやってよかったと思えました。東京形成歯科研究会に入会するまでは、まさか自分が学会発表をするなど思いもしませんでした。このような経験をさせて頂き心より感謝しております。

今後ともご指導いただき、機会があればぜひまた学会発表をさせて頂きたいと思ひます。

# 緊張の学会発表を終えて

東京形成歯科研究会会員 群馬県開業 関口 剛



今回の学会発表をするにあたり、会長の奥寺先生を始め、本本先生には、大変お世話になりました。

本当にありがとうございます。良い表現ではありませんが、のんびり気分で東京形成に出席し講義を聞き、会員の先生達の話を耳に挟みながら「おー、みんなすごいな。おれも、あんな風に語ってみたいものだー。」などと思ひながら自分なりにやっていた、そんな折に。

奥寺会長から学会発表やつてみないか?と電話が来ました。「大丈夫かな?」と思ひつつ、「はい、やります。」と言っている自分がいきました。

そして・・・、学会近くになり、本本先生に尻を叩かれながら何とか終わった。

という所だったと思ひます。発表中も奥寺先生と本本先生がついていて下さったので安心して終わることが出来ました。それでも終わった後は、ほっとしました。夜のビールが美味しかったのです。

発表内容は基礎系の内容で、難解そうに思われましたが、その辺りはさすがの本本先生が私にも分かり易いように考えてくれました(この辺は本当にありがたいことで、発表もやり易かったです)。

また、驚いたのは学会の数日前に会員の先生方が集まって研究内容の検討、今後の目論みを話し合っている現場に立ち会う機会を持てたことでした。開業医と大学の研究者が一同に会し、研究結果を臨床にフィードバック出来る環境が作られていて、本当に先端医療の実践だな

と、学会発表の前に一つ感動がありました。

# 「Miami-Toronto Bone Symposium 参加報告」

東京形成歯科研究会会員 日比谷開業 木下 三博



10月31日より11月2日、フロリダ州オーランドのディズニー・コンベンション

リゾートにて Robert E.Marx 教授・Cameron M.L.Clokie 教授主催の Bone Symposium が開催された。日本からは計5名が参加した。全体の参加人員は約80名程度であった。

数々の企業やイベント会社が企画・主催する大規模なコンGRESの時代は終わり、細分化した研究情報が今のインプラント治療に大切であるという日本口腔インプラント学会認定施設東京形成歯科研究会の奥寺施設長の考えのもとに、今回参加の企画がたてられた。世界最高峰の骨の研究者が一堂に会する有意義な会であり、主催者と奥寺会長とは永年のつながりで縁が深いということもあり是非参加したいと考えた。

今回の Symposium は骨に焦点が絞られており、歯科領域に限定せず組織学的なことから幹細胞や BMP を用いた骨の再生・顎再建および最近日本でも話題になっている骨粗鬆症や癌の骨転移の治療薬として最適であるが顎骨壊死を招く危険性を持ったビスフォスフォネート製剤にまで話が展開された。まさに骨最前線といった感がありとてもエキサイティングな内容であった。

別の視点からみると全ての内容に一貫性があり、基礎系は基礎系・臨床系は臨床系というようならばら感が無くとても分かり易い内容にコーディネートされていた。

簡単にプログラムをご紹介します。興味があれば講演者から文献を辿ることができます。



Marx 教授と共に

(日本からの出席者：敬称略)  
奥寺 元：東京形成歯科研究会施設長  
北村 豊：信州口腔外科  
増木 英郎：エルム駅前歯科医院  
奥寺 俊允：王子歯科美容外科クリニック  
木下 三博：木下歯科クリニック

Day 1 Bone the Tissue : Natural and Engineered  
骨再生と治療。BMP の現状。血管新生と機械生物学。顎顔面再建における遺伝子治療。

幹細胞と Scaffold(足場)。骨髄抽出幹細胞の臨床応用。  
(講演者) Jeffrey O.Holinger : A.Hai Rediti : Donald Engler : Paul H.Krebsbach  
John E.Davies : Philippe Hemigou

Day 2 Bone Regeneration and Reconstruction  
悪性骨腫瘍の外科および再建。他家骨と rhBMP-7 による顎骨粉砕骨折の骨再生。MIAMI Cells。rhBMP-2 を用いた脊椎の骨再生。微小血管グラフトを応用した顎骨再建。

骨髄グラフトを応用した顎骨再建。顎再建における骨グラフトと rhBMP の比較。  
(講演者) H.Thomas Temple : Michael D.McKee  
: Guy A.Howard : Scott Boden  
Eric J.Dierks : Robert E.Marx  
: Cameron M.L.Clokie

Day 3 Osteoporosis : Biology, Treatment, Complications  
脊椎の骨再生。骨粗鬆症の生物学と臨床的影響。骨改造における破骨細胞にたいするビスフォスフォネートの影響。ビスフォスフォネートがもたらす顎骨壊死。

(講演者) Jeffrey C.Wang : Clifford J.Rosen  
: Robert E.Marx



参加された先生方

2日目終了後にガラパーティーが催され、ゲストにジュラシックパークでもお馴染みのモンタナ州立大学 Jack Horner 博士(考古学者)が招かれた。彼は子育て恐竜マイアサウラの発見者でもあり高名であるが、「T.Rex の骨は語る」とのテーマで講演され、恐竜に興味のある私としては貴重な話を聞かせて頂いた。ノースカロライナで顎顔面外科医をされている Dr. Gregory Lutaerage と知り合うことができた。子供は6名・孫が2名いて趣味は狩りだそうである。彼は論文書き・臨床にとても忙しくしているが、参加してよかったと言っていた。なぜならこの Symposium 出席者はとても勉強熱心な方達の集まりであると感じたからだそうである。

最新の内容に一新して次回は、2011年5月13・15日にトロントにて Bone Symposium が開催される予定である。是非、参加したいと考えている。

# 「東京形成歯科研究会の活躍」

## 第28回(社)日本口腔インプラント学会 東北・北海道支部総会 ランチョンセミナー開催

東京形成歯科研究会 福島県開業 西山 和彦

Good News  
木下三博先生(社)日本口腔インプラント学会学術誌に投稿なる!! 木下先生は先般に続いて論文筆頭者として難関を突破され、無事出版となりました。地道な努力に敬意を表します。  
12月30日 NHK 22時 長崎信司先生出演  
只御期待!!



仙台市アエルで行われた第28回(社)日本口腔インプラント学会東北・北海道支部総会・学術大会において、本研究会は歯槽骨研究部と共同で10月11日12:00~13:00「長期インプラント臨床」を将来への道程」と題したランチョンセミナーを開催した。聴講者はおおよそ100名、韓国の金鴻基先生も聴講された。

- 司会：西山和彦、  
①東京形成歯科研究会会長 奥寺 元 先生  
「インプラントの温故知新とは」  
②東京形成歯科研究会名誉顧問  
小嶋 榮一 先生  
「永年インプラント臨床家として患者さんとのコミュニケーションに携わって」  
③歯槽骨研究部 懸田 利孝 先生  
「研究と臨床の狭間でインプラントの発展を願う」

講演の要旨  
①インプラントは顎骨を保存できることが最大の利点。現在の状態は企業のコマーシャルに誘導され、この流れの中でサブペリやブレードが葬り去られた。しかし、この状態が続けばインプラントバブルが弾け、大変な事態になる。そうならない行動をとらな



講演者と共に

ければならないとの話の後、Custom Endosteal Implantを紹介した。  
②Dental Implantは骨内Implantと骨膜下Implantがあることを忘れてはならないとの観点より、臨床例を紹介し、長い臨床経験から得た奥義を披露された。  
③インプラントバイオニアとしてのご自身の研究を振り返った後、大学の整形外科に20数年通院しても治らなかった、腰痛・肩こり・頭痛・歩行困難がインプラント治療で改善した症例を提示。さらに、赤外線センサー・筋電図・皮下血流量計を用いて咬合咀嚼の様相を比較実験した研究結果を紹介された。

### ● シンポジウム参加者募集 ●

### ● 認定講習会参加者募集 ●

#### 市民公開講座

#### ミスユニバースと美しい顔造りにたずさわって!!



俳優 宝田 明

日 時……………2009年2月15日(日)  
市民公開講座……………10:00~12:00(無料)  
シンポジウム……………13:00~17:00(有料)  
場 所……………神奈川歯科大学横浜研修センター(7F 会議室)



美容外科医  
Dr.マッキンストリ高木

Facial Aesthetic Problems caused by Bony Defect  
顎骨のアトロフィー吸収は、他の体幹骨には見られない極めて特殊な顎独特の現象で、口腔機能への影響は計り知れません。その点から従来型の義歯やブリッジでは機能回復には限界がありました。今回、この現象を検証し、また、同時に各専門領域から医科学的にメスを入れて、現況の正しい把握と問題解決策を探るシンポジウムを企画しました。

従来より顎骨部とその周囲軟組織を扱う領域は、口腔内から見れば歯科分野ですが、いわゆる美容外科とも密接な関係があるので、この分野での連携は不可欠です。その意味で、美容外科分野のマッキンストリ高木先生(渋谷区開業)と美に造形が深い宝田明氏をお招きして市民にも啓蒙を行い、併せて口腔領域の重要性を訴えます。

このテーマに関与する基礎系研究者はもちろんのこと、歯周病学・補綴学・顎顔面外科学・インプラント学・美容外科学に携わる先生方より、今後の顎顔面領域に係わる患者のQOLからも重要なテーマとなりますので、多数の参加をお願いいたします。

#### シンポジウム

#### 「口腔疾患としての顎におけるアトロフィーを考える」

座長 李 昌一 神奈川歯科大学教授 古谷田 泰夫 東京形成歯科研究会副会長

#### 口腔臨床の立場から



奥寺 元

王子歯科美容外科クリニック総院長  
東京形成歯科研究会会長

#### 顎顔面外科学の立場から



久保田 英朗

神奈川歯科大学  
顎顔面外科学分野教授

座長 高橋 理 神奈川歯科大学教授 柳 時悦 東京形成歯科研究会副会長

#### 予防歯科学の立場から



木本 一成

神奈川歯科大学  
健康科学講座口腔保健学分野准教授

#### 形態学関係の立場から



高橋 常男

神奈川歯科大学  
人体構造学講座解剖学分野教授

座長 高橋 常男 神奈川歯科大学教授 築瀬 武史 日本歯科先端技術研究所所長

#### 顎骨と骨粗鬆症研究の立場から



鹿島 勇

神奈川歯科大学  
顔面診断科学放射線学分野教授

#### 再生顎医学PRP&PPP&PRF



蘇 正亮

台湾血液リサーチセンター所長  
台湾YAN-MING大学教授

パネルディスカッション 進行：奥寺 元、渡辺 孝夫

主催：神奈川歯科大学 人体構造学講座解剖学分野 後援：社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研究会  
プロジェクト研究アンチエイジング班  
教授 高橋 常男 班長 奥寺 元  
日本臨床PRP研究会  
オクデラメディカルインスティテュート

#### お問い合わせ・申し込み先

オクデラメディカルインスティテュート 〒114-0002 北区王子2-26-2  
TEL:03-3919-5111 FAX:03-3919-5114 URL:http://www.oji-shika.jp/pc/

## 2009年度 東京形成歯科研究会 社団法人日本口腔インプラント学会 認定講習会



～ 多彩な講師陣と施設指導医による親身な指導 ～  
主催：社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研究会会長：奥寺 元

#### ＜ 講義と実習内容 ＞

認定講習会は経験豊富な講師陣を配置し、最先端の講義・実習はもちろんの事、日常の臨床にアドバイスを提供し、研修のみではなく日々の開業にプラスになるように指導し、合わせて研究や学会発表にも積極的に付帯的な影響を与えています。インプラント臨床バブルが弾けても、真の実力で生き延びるコースです。2008年度も東京形成歯科研究会のインプラント学会発表は計18演題にもおよび、大学や他研究施設には追従を許していません。それもすべて画期的研究と自負しております。歯科学に情熱を持つ若き医学生への参加を求めます。

【開催場所】 王子歯科美容外科クリニック研修室  
【定 員】 20名  
【参加費】 65万円 <分割可>

【 予定講師 】

小嶋 榮一 (社)日本口腔インプラント学会指導医 奥寺 元 (社)日本口腔インプラント学会指導医  
高橋 常男 (社)日本口腔インプラント学会指導医 河 奈 裕 正 慶応義塾大学医学部歯科口腔科学 准教授  
古澤 利武 (社)日本口腔インプラント学会指導医 津 末 臺 (社)日本口腔インプラント学会指導医  
田口 明 松本歯科大学歯科放射線学講座 教授 和 泉 雄一 東京医科大学歯周病学講座 教授  
懸田 利孝 (社)日本口腔インプラント学会指導医 瀬 戸 皖一 (社)日本口腔インプラント学会指導医  
星野 清興 (社)日本口腔インプラント学会指導医 荻 原 力 (社)日本口腔インプラント学会元指導医  
白川 正順 (社)日本口腔インプラント学会指導医 鯨 岡 昌 寿 (社)日本口腔インプラント学会専門医  
木本 一成 (社)日本口腔インプラント学会指導医 他、有名外人講師

○当研究会指導医 (小嶋 榮一・奥寺 元・高橋 常男・木本 一成)  
○当研究会専門医 (鯨岡 昌寿・朝日 啓司・飯田 淳一・井畑 秀久・木村 博光・古谷田 泰夫・鈴木 富士雄・中島 繁樹・李 徳操・柳 時悦・塩谷 和則)

| 2009年度      |             |               | 7. 10月18日(日) | 2010年度 |
|-------------|-------------|---------------|--------------|--------|
| 1. 4月19日(日) | 4. 7月12日(日) | 8. 11月29日(日)  | 11. 1月24日(日) |        |
| 2. 5月24日(日) | 5. 8月30日(日) | 9. 12月12日(土)  | 12. 2月21日(日) |        |
| 3. 6月21日(日) | 6. 9月27日(日) | 10. 12月13日(日) | 13. 3月28日(日) |        |

【東京形成歯科研究会認定講習会事務局】認定施設 王子歯科美容外科クリニック内 担当：佐野、奥寺  
〒114-0002 東京都北区王子2-26-2-3F TEL:03-3919-5111 FAX:03-3919-5114  
E-mail:okudera@carrot.ocn.ne.jp 【URL】http://www.oji-shika.jp/pc/

#### ＜ 切り取り線 ＞ 認定医研修コース 申し込み書

|     |    |     |
|-----|----|-----|
| お名前 | 所属 | 紹介者 |
| 〒   |    | TEL |
| 住 所 |    | FAX |

# 東京形成歯科研究会後援の トータルエステトレーニングスクールに参加して

患者さんが生きいきと生きようと努力する姿勢を支えて

町田市開業 成瀬台歯科 戸澤 康子



今あらゆる面でア  
ンチエイジングが試  
みられています。歯  
科の分野でもアンチ  
エイジングの取り組  
みは盛んです。きれいな歯並び・白い歯・  
人工歯根・健康な歯茎。しかし、努力し  
て得た白くきれいな歯並びと健康な歯茎  
を見て、患者さんは期待したとおりの自  
分になったのだろうか？と最近思うよう  
になりました。

私は、映画を見るのが好きです。特に  
物語の世界に入り込める洋画を見るのが  
好きです。お気に入りの俳優を追いかけ  
て何本も続けてみます。主役の俳優が演  
じる役に合わせて太ったり痩せたり、職  
業や年齢で筋肉の付け方を変えたり、ふ  
るまいを変えたり言葉つきを変えたりす  
るのでつい引き込まれていきます。その  
上男女問わず魅力的な表情で見つめられ  
ると胸がドキドキします。私は映画を見  
ながら患者さんの表情、仕草に配慮した  
アドバイスができたなら患者さんの努力は  
もっと報われるのではないだろうか考え  
るようになっていました。しかし知識の  
乏しい私は、エステや化粧品のコマー  
シャルを見ては「マッサージの方法は正  
しいのであろうか。どれほど行ったら本  
当にこんな結果が得られるのか」「ボデ  
イメイキングプログラムのコマーシャルを  
見ては「何故これだけ激しい動きが必要  
なのか。これほどしなければ得られない  
のか」そんな疑問に圧倒されながら、何  
をどんなふうに学べば自分の考えている  
ことが具体的になるのだろうか。そんな  
ことを考えている時にこのエステスクー

来たくなる歯科診療所を目指して

トシデンタルクリニック 歯科衛生士 宮坂 明子



自分を活かすための体づくり、健康を  
表す肌・表情、それらの理論と実践をト  
ータルに学べる場が提供される。私はこれ  
だと思いました。授業の最初は周先生の  
皮膚の構造と動き、そして傷ついた皮膚  
を速やかに回復させるための知識でした。  
次に富田先生と佐野先生から具体的な肌  
の健康管理を学びました。洗顔の意味、  
化粧品役割、エステの働きなどすぐ自  
分で試して取り入れられるというきめの  
細かな指導でした。次が近藤先生と梅田  
先生からボデイメイクの実際でした。自  
宅でできること、ジムでするウェイトト  
レーニング、そして栄養学。日常の中で  
取り込めるようなトレーニングの考え方  
や今盛んに叫ばれている食育の基本でし  
た。来週から始まる最後の授業コースは  
表情筋です。顔そのものを構成する解剖  
学からスタートするようです。

このスクールが終わって自分の診療に  
どのように反映するのか、今はわかりま  
せん。しかし、「努力している患者さん  
へのサポートはなにか？」という疑問の  
答えが見えてきたように思えるこの先に  
違う自分があるように思えます。そして  
このスクールで患者さんの生き生きとし  
きようと努力する姿勢を、診療室からサ  
ポートする目の養い方を教えていただい  
ていると感じます。12月半ばまで続く授  
業に引き続き楽しんで出たいと思ってい  
ます。

最後になりましたが、副校長が毎回用  
意してくださる美味しい軽食がとてもう  
れしく、励みの一つになっています。あ  
りがとうございます。

今後の歯科医療の時代を見据えて

鹿児島市開業 曾山歯科 曾山 敬子



私は、トシデンタ  
ルクリニックで歯科  
衛生士として勤務し  
ております。スクー  
ルには院長の薦めで  
通わせていただくことになりました。

私自身もまた、歯科衛生士になる前か  
ら、資格取得や幅広い分野について学ぶ  
ことに興味をもっていましたし、まして  
や「美」は女性にとって永遠のテーマ。  
総合的な美容と健康についてプロフェッ  
ショナルな知識を学習できることを毎回  
楽しみに参加してまいりました。

スクンケアからボデイメイクまで、今  
まで一度も触れたことのない分野でした  
ので、最初は歯科診療とどういったかた  
ちで交わってゆくのか少々不安もありま  
したが、座学や実際に身体を動かしての  
実習を経て、総合美容と歯科診療の関係  
について考える良い機会になりました。

歯科医院スタッフといえども、肌が荒  
れ、内面からの活気がないような女性よ  
り、芯から美しく輝いている女性が魅力  
的なのは一目瞭然です。医院のイメージ  
や患者さんの恐怖心の緩和に繋がってゆ  
くと思います。更に、口腔を中心とした  
顔面から全身まで、美と健康についての  
アドバイスは1ランク上のコミュニケーション  
シンプロセスになると考えています。

しかし、美容院やエステティックサロ  
ンと病院は同じではありません。「今より  
も美しくなりたい！可愛くなりたい！き  
れいになりたい！」という心の満足を求  
めるのが前者。お客様自身が癒しを求め  
ご来店します。後者は「悪くなったから  
治しに行く。痛くて怖い治療を我慢しな

ければいけない」というマイナスイメー  
ジが強いのが現状です。病気が治ったの  
に心の満足がなく、不快な気持ちになっ  
てしまうケースの方が多いのです。それ  
は、お客様（患者さん）自身が望んだご  
来店（来院）でないからではないかと思  
います。そうとなれば、私たちが歯科の  
イメージを変えていかなければならませ  
ん。勤務医院のトシデンタルクリニック  
では「怖くない歯医者」を理念としてい  
ます。まさに目標とするところはそこな  
のですが、今回スクールに参加すること  
によって、具体的にどういうことが深く  
考えるようになりました。

前者の要素を取り入れ「虫歯になった  
「歯医者に行かなくちゃー」ではなく、  
例えばクリーニングやホワイトニング、  
定期検診でのスタッフとの会話を目的と  
していただくことで心の満足、癒しを求  
めて来院できるのではないでしょう。か  
私たちスタッフ自身が、治す病院である  
とともに癒す病院であることを常に心掛  
けることで、また行きたい歯医者、怖く  
ない歯医者となっていくと思います。

「いつでも気軽に来院できる空間」を  
造り、私たちスタッフ自身が「会いたい  
人」になることで、患者さん自身が望む  
来院の実現に繋がるのではないかと考え  
ます。

「会いたい人」になることで、患者さん自身が望む  
来院の実現に繋がるのではないかと考え  
ます。



保険改正を発端と  
し、時代とともに歯  
科界をとりまく環境  
が大きく変わり、明  
るい話題が少ない現  
在ですが、私は常日頃、歯科の可能性を  
模索しておりました。歯科は、単に歯の  
治療や、口の健康と美に留まらず、全  
身の健康と美、さらにはライフスタイル  
まで影響を及ぼす大変重要な分野であ  
ると感じながら漠然とその思いを抱えて  
おりました。

そんな時、奥寺先生主宰の、歯科を美  
容的・内科的・全身的な面からアプロ  
チし、トータルな健康と美をテーマとし  
たセミナーが開催されることを知り、大  
変興味深く参加いたしました。

実際のセミナーでは、おそらく他の歯  
科セミナーにはないであろう多分野（美  
容外科・エステティシャン・ボデイメ  
イクトレーナー他）の講師陣による充実  
した授業が行  
われました。

歯科のセミ  
ナーでウェ  
イトトレ  
ニングや  
ヨガする  
のですから、  
一見（一聞）  
すると理  
解が難しい  
ですが、実  
はこれこそ  
まさに、今  
後の歯科医



卒業式集合写真

療の「時代」を見据えた奥の深い内容そ  
して考え方だと思います。

私達歯科の分野が、全般的健康と美を  
担う役割は大きいという奥寺先生のお考  
えのもと開かれたこのトータルエステ  
トレーニングスクールは、これからの歯科  
医療に必要な知識や考え方を養う大変有  
意義なセミナーだったと思います。



エステスクール実習風景

## — 討 報 —



東京形成研究  
会で何度か講演  
をお願いして国  
際美容外科学会  
／歯科美容外科アカデミーの創立に  
お尽力を頂き歯科美容外科の御指導  
を頂きました周哲男先生が亡くなり  
ました。心から御冥福をお祈り申し  
上げます。